

高知県道路利用者会議とは

R7.12.8現在

全国1位の森林率を誇る高知県では、それまで他県からの人流・物流を四国山地に遮られていきましたが、昭和62年10月、県内初となる高知自動車道（大豊IC～南国IC）の開通を皮切りに、東西で高速道路の延伸を重ねてきた結果、現在、本県の四国8の字ネットワーク整備率は、ようやく6割を超え、県内はもとより、他県との交流も活性化されつつあります。

高速道路は、私たちの安全安心な暮らしや、産業・経済活動を支え、豊かで活力ある地域を実現するために不可欠な社会基盤であるとともに、近年、発生の切迫度が高まる南海トラフ地震等の大規模災害発生時には、交通途絶を回避し、救援部隊や緊急物資の円滑な輸送を支える「命の道」としての役割も担います。

令和7年2月には、阿南安芸自動車道 北川道路2-2工区の和田トンネル区間、令和7年3月には、高知東部自動車道 南国安芸道路（高知龍馬空港IC～香南のいちIC）が相次いで開通しましたが、他県と比べると依然として、遅れを取っているのが現状です。

高知県道路利用者会議では、道路利用者の声を届ける県内唯一の団体として、四国8の字ネットワーク等の高規格道路網の早期完成や、日々の暮らしに密接に関わる県管理道路や市町村道の整備、さらには、道路施設の老朽化対策等のために必要となる予算の確保に向け、現在17団体の加盟により国などに対して積極的に提言活動を行っています。

また、当会議は、より強力に道路整備を促進するために、活動趣旨にご賛同いただけます方を随時募集しております。



会長 森本敬一
(高知県トラック協会会长)

■活動趣旨 :

- ・高知県内の道路整備を促進すること

■活動内容 :

- ・定期総会（毎年7月頃）
- ・国土交通省、財務省に向けた提言活動（毎年11月頃）
※道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会（会長：池田洋光中土佐町長）との合同提言
- ・国土交通省や西日本高速道路（株）などの道路管理者への提言活動（毎年11月頃）

■近年の活動実績 :

※道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会（道全協こうち）との合同提言

R7.11.28 西日本高速道路（株）四国支社への提言

R7.11.20 国土交通省中村河川国道事務所、土佐国道事務所及び西日本高速道路（株）四国支社高知高速道路事務所への提言

R7.11.6 国土交通省小林大臣官房技術審議官、石和田道路局次長及び地元選出国会議員への提言※

R7.5.13 地元選出国会議員への提言

■近年の主な動き :

R7.3 高知東部自動車道 南国安芸道路（高知龍馬空港～香南のいち）開通

R7.2 阿南安芸自動車道 北川道路2-2工区 和田トンネル区間開通



▲R7.11.6国土交通省小林大臣官房技術審議官への提言
(道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会との合同提言)



▲R7.11.28
西日本高速道路（株）四国支社への提言

